

令和7年3月定例会 一般質問補足資料 10番 井上真砂美

岩倉水道事業

大正時代に普及し始めた手押しポンプは昭和の初期にはほとんどの家に取り付けられた。



水質不適を克服するために簡易水道組合の設立の声が上がり推進をはかった。

愛知県は、昭和 25 年、全国に先がけ、水道布設工事に積極的に取り組んだ。(略) 岩倉町水道委員会は、昭和 32 年 5 月 21 日岩倉町全体の水道竣工式を行った。昭和 33 年岩倉町第 2 水源地、八剣簡易水道が完成した。石仏神野地区の簡易水道は

昭和 35 年頃に水源発掘配管を行った。簡易水道が布設されたことによって、住民の生活は大きく変わった。台所・風呂場・洗面所・便所等どこにも蛇口を取り付け自由に必要な水が使用できるようになり家事の仕事は軽減された。また、取水源も従来の井戸に代わって、水深 30m から 90m の深井戸になり、水量の確保はもちろん水質の問題も解決されるようになった。こうして簡易水道は豊富な



生活用水を供給するほか。生活改善・公衆衛生の向上・産業の発展・防火に対して大きな恩恵を与えた。
(略)

市政出発の年昭和 46 年には、簡易水道の普及率が 96,6%に達した。

昭和 47 年度に、県水（「愛知県水道用水供給事業」から受ける水のこと）入水に伴う配水用地を確保した。一方、石仏町・神野町・八劔町・中本町に掛けて（順次）配水管布設を行った。

昭和 50 年度には、新設排水管の延長が 7765mに達した。

昭和 54 年度より自己水とともに県水の給水が開始された。

(略) ※参考資料：岩倉市史中巻 P.898

※岩倉市史 P,1068～P、1071 を要約。詳細は市史を参照。



県水上水道水管橋

水と健康 水道水は安全なのか

結論からいうと「水道水は安全」です。

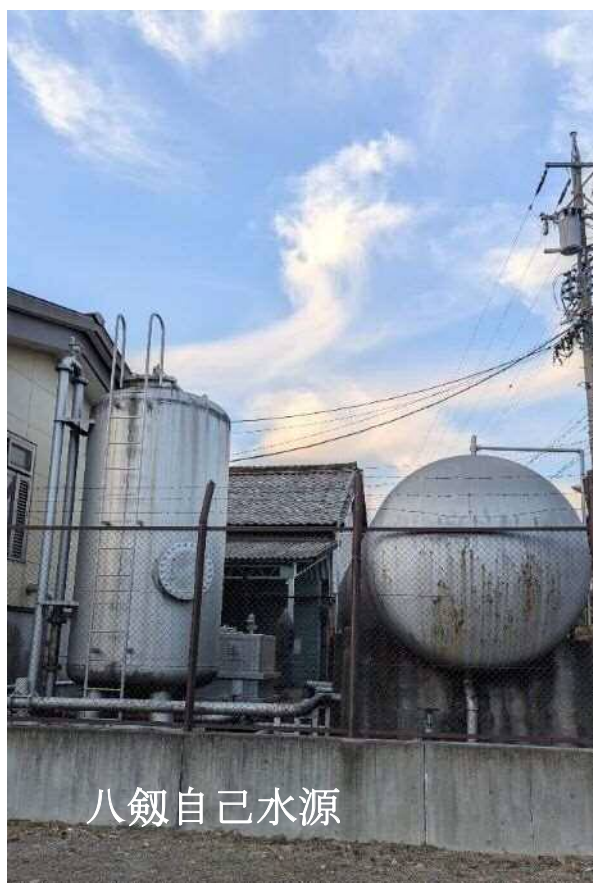
特に日本の水道水は世界レベルで安全と評価されており、その中でも水質管理は非常に高い水準にあります。

また、水道水を飲むことができる国は世界でも 9 カ国しかなく、そもそも水道水を飲める国がほとんどないのです。

私たちの体は 60%程度が水分でできています。この 2/3 が細胞の中にあり、1/3 が血液やその他の細胞間液として存在しています。

人の体には食事や飲み水として水分が補給され、呼吸や汗、尿などとして体外へ排出されます。

この量は 1 日に 2 ～ 2.5 リットルくらいに



八劔自己水源

なります。厚生労働省では水分の不足による健康障害を防止するための運動として「健康のための水を飲もう推奨運動」を行っています。

※資料；水道に関する国の施策、情報等については、「国土交通省（水道整備・管理のうち水質・衛生以外）又は環境省（水質基準の策定、水道整備・管理のうち水質・衛生）の Web ページで紹介」より要約

安全性を保つ仕組み

日本の水道水が世界的に安全と評価される理由の一つは、徹底した浄水処理と厳格な品質管理にあります。

原水はまず、沈殿・ろ過といった物理的处理を受け、有機物や不純物が除去されます。その後、塩素消毒が施され、病原菌の殺菌が行われます。

塩素は強力な殺菌剤であり、細菌やウイルスの細胞膜を破壊し、安全なお水を家庭に届ける役割を担っているのです。

また、水質基準を維持するために定期的な検査が行われており、特に残留塩素の濃度が基準を超えないように厳しく管理されています。

発がん性物質や病原体などの基準

水道水の安全性を確保するために、日本では厳しい基準が設けられています。

※参照：国土交通省 令和5年版
日本の水資源の現況について

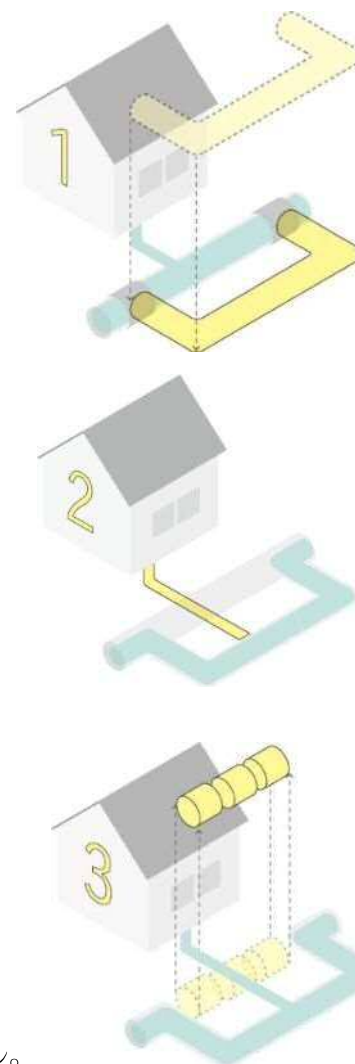
※資料；「水循環システムのしくみ」ナツメ社
編著者 伊藤雅喜国立保健医療科学院水道高価部水道計画室長



ろ過機

水道管の交換はどのように行われるの？

- 1 新しい水道管を設置していきます。
水道管を全て設置した後、新しい水道管に水を流します。
- 2 新しい水道管の設置給水管の繋ぎ換え
各ご家庭と水道管を結ぶ給水管を、
新しい水道管に繋ぎ換えていきます。
- 3 古い水道管の撤去
少しずつ場所を移動して、古い水道管を撤去していきます。



水道管を交換しないとどうなるの？

水道管の破損・破裂

古い施設をそのままにすると、
老朽化によってある日突然施設
が壊れることがあります。

管路が破損すると、漏水し、いつか断水するかもしれません。

災害に強い、新しい水道管に更新する必要があります。

断水になると、手や顔が洗えず、歯磨きができず、お風呂に入れず、
トイレで水を流すこともできません。

私たちが道路でよく見かける「水道管の工事」。地下に埋められた水道管は古くなったことなどが原因で破損することがあるので、そうなる前に交換を進めています。

土を掘り、埋め戻しながら毎日少しずつ工事を進めます。長時間の断水にならないよう手順を踏んで工事を進めているため、同じところを掘ったり埋めたりすることがあります。

※資料；厚生労働省 医療・生活衛生局水道課 「ひと、暮らし、みらいのために」